

発見！ 必見！

No.6 発行:会津教育事務所

放課後子ども教室



今回の訪問(2019年9月18日)は「猪苗代小学校放課後子ども教室」です。

- ・開設年度・・・令和元年度
- ・活動回数・・・年間10回
- ・対 象・・・小学校1年生～6年生(選択制)
- ・主な活動・・・レクリエーション、音楽、運動
- 地域の史跡散策、手工芸、茶道等

町内の人材を 有効活用 ～人材登録の見直しで講師発見～



「猪苗代小学校放課後子ども教室」は、今年度から始まったばかりです。教室にお邪魔すると毛せんが敷かれ和服姿の講師が3人。ほどよい緊張感に包まれた空間がありました。当日は茶道教室を実施。講師を務めるのは猪苗代に2団体あるうちのひとつ「熊倉社中」の方々で、猪苗代の体験交流館の講座でも活躍していらっしゃるそうです。ピリッとした空気が漂い、座り方、お辞儀の仕方から始まり、茶碗の持ち方、お菓子の食べ方、箸の使い方まで…。子どもたちは初めての体験でしたが「楽しかったね」「自分の点てたお茶と先生の点てたお茶の味は全然違うね」と話していました。人材確保は町にある体験交流協会加盟団体(様々な分野の80団体等)や、専門知識、特技などをお持ちの町民の皆さんにお声がけし、その力を活用させていただき、社会参加を促しています。また、町の人材バンクを見直し再登録をし、最新版にしている最中だそうです。体験交流館の講座だけで終わるのはもったいない、町の活性化にもつながるといった考え方は町・人をつなげる上で大変参考になりました。

「茶道教室～お茶の子さいさい」

講座名と同じにして周知します。



お辞儀は腰から曲げます



お箸の持ち替え方が難しい…



泡立つまでに素早くお茶を点てます

けっこう
カがある
んです！

懐紙って何？

お茶碗の向きは秋をあらわす「もみじ」が相手に見えるかな？2時から4時の方向まで2回回して三口半で飲みほします。



講師の人材確保については、どの地区、どの教室でも悩んでいます。猪苗代町は、人材をフルに活用することで、子どもたちを本物に出会わせ、様々な体験をすることを可能にしています。子どもたちが、自分の町や人へ関心を高めて愛着を育んだり、町の方が学校に足を運び、子どもの取組を支援したりすると、お互いがWIN-WINの関係を構築しています。町の大人が実社会で得た知識や経験を子どもたちにつないでいく取組はほほえましくうらやましい限りでした。



